

地域賞部門 地域貢献賞

「アスファルト目地注入機」を使用した 「舗装クラック注入工法」

(株)近藤組

業績の概要

昨今、我々建設業に携わる全ての技術者に、国民の「安心・安全社会の実現」に向けた「既存インフラの維持・整備」の方向性が問われている。その中で、弊社では、「舗装クラック注入工法」により、アスファルト舗装の代表的な変状である「舗装表面のひび割れ（線状・亀甲状）」を早期に手当てすることで、インフラの安心・安全、更には道路舗装のライフサイクルコストの低減、道路の延命化を実現している。

業績の特徴

「舗装クラック注入工法」は、新規に開発した機動性に優れた小型軽量な「アスファルト目地注入機（L = 1,271 mm, W = 650 mm, H = 1,152 mm, 重量 160 kg, 釜容量 50 L）」を使用し、小規模な範囲や点在する舗装の「線状クラック」に直接「シール材」を熔解・注入する技術である。



舗装クラック注入状況



アスファルト目地注入機（操作盤）



アスファルト目地注入機（正面）



材料（シール材）熔解状況